【資料Ⅰ】

※書名の表記は第３学年のものに統一

教科種目名≪社会（公民的分野）≫

※詳細については、資料Ⅱ（公民的分野-7～公民的分野-15）を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編　新しい社会　公民
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめの活動』に、語句についての補足が『もっと解説』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路の建設計画を公共の福祉の観点からグループで話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ 公共の福祉について考えよう】に設定されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生存権を例に現実社会の課題を効率・公正の視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 生存権について考えよう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標（めざすべき人間力像）に沿っているか。 ④ □［思いやる力］の「共生」について、アイヌ民族の歴史や権利保障への国際的な取組が『もっと知りたい 先住民族としてのアイヌ民族』に掲載されている。 ⑤ □［たくましく生きる力］の「情報化」について、人工知能やIoTといった最新技術の活用例や日常生活へ及ぼす影響が『もっと知りたい 新しい情報技術で社会が変わる』に掲載されている。 ⑥ □［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、中学生の取組を例にした地域の課題解決や政治参加を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 政治参加をしてみよう】に設定されている。		
3 内容と構成	≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、各章の課題設定、考察、課題解決の3つの流れで取り組む学習活動が【探究のステップ】に設定されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買の契約や複数の支払い方法を例に、その仕組みを考える学習活動が【18歳へのステップ 契約と支払い方法のあれこれ】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、市民の声を反映したまちづくりをステップチャートを活用して順序立てて考える学習活動が【深めよう S市の議員になって条例を作ろう】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統文化や芸術やアニメが世界に広がる様子が『多様な文化の意義』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、公園の使用方法やルールづくりを複数の立場や視点で考える学習活動が【深めよう T市の新しい公園の使用ルールを考えよう】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、国民主権や平和主義といった小学校で学習した語句や事柄が『小学校の社会で習ったことば』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、地方財政の変化を表すグラフ資料から情報を読み取り地方公共団体の課題を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 地方財政（歳出）の変化を調べよう】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、キャラクターの吹き出し・イラスト・図・写真が『導入の活動 T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【デジタルコンテンツを活用しよう】に示され、思考ツールなどにつながる二次元コードが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫（それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照） ⑯ □ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、株式会社の仕組みの学習を基に株式投資を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 投資家になって考えよう】に設定されている。 ⑰ □ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、エネルギー問題や環境問題などの国際的な課題を異なる視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 温室効果ガスの排出制限について考えよう】に設定されている。 ⑱ □ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、国際平和の実現に向けて争いの解決を考えてまとめる学習活動が【深めよう はちみつの争い】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全6章で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ □『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪社会(公民的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-15)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学社会　公民　ともに生きる
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習のまとめと表現』に、語句についての補足が『側注解説』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教育費とGDPの関係を考える学習活動が【THINK 教育費がGDPに占める割合と、高等学校を私費で負担する割合の国際比較】に設定されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、効率・公正を踏まえ生活でのルール作りを多面的・多角的視点から考える学習活動が【誰もが大切にできるルールとは】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □[思いやる力]の「共生」について、複数の国際的な課題を例にSDGsの目標や共生社会の意義が『持続可能な社会に向けて なぜ、子どもたちのためにSDGsを達成するべきなのだろう』に掲載されている。 ⑤ □[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報社会に影響を与える最新技術やその活用例が『急速に進展する情報社会』に掲載されている。 ⑥ □[社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、地域の将来を考えて提案書を作成する学習活動が【TRY 子どもたちが暮らしやすい地域のまちづくりを考えよう】に設定されている。		
3 内容と構成	≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、各章の節ごとに設定された問いを3つのステップで取り組む学習活動が【学習のはじめに 学習の見通し】に設定されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する製造物責任法(PL法)を例に、消費者の安全を守るための技術や方法を考える学習活動が【公民の窓 PL法をめぐって】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、日本の社会保障制度や経済の課題をダイヤモンドランキングを活用して優先順を考えながらまとめる学習活動が【学習のまとめと表現 安心して豊かに暮らせる社会】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、茶道や歌舞伎を例に、伝統文化の技や知恵が現代に受け継がれる様子が『伝統文化の継承と新たな文化の創造』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、各グループから出た提案を効率と公正の視点から比較・検討し、評価する学習活動が【公民の技 考えたルールを評価しよう】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、憲法や国会といった小学校で学習した内容との関係が『関連』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、地図上の分布図を用いて地域紛争の現状を知りその問題や解決に向けて考える学習活動が【終わらない地域紛争】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめに学習のポイントをマンガ形式の説明や図で説明する内容が『学習のはじめに』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【公民の技】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、少子化と高齢化の学習を基に20年後、40年後の人口と社会の変化を考える学習活動が【THINK!】に設定されている。 ⑰ □ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、地域のルールについて異なる立場から考えたり話し合ったりする学習活動が【JUMP 未来のためにできること】に設定されている。 ⑱ □ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、憲法や基本的人権の学習を基に個人の尊重の在り方を考えてまとめる学習活動が【学習のまとめと表現 個人を尊重する日本国憲法の問い】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全7章で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ □『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪社会(公民的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-15)を参照。

発行者の略称	帝国	書名	社会科　中学生の公民　よりよい社会を目指して
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習を振り返ろう』に、語句についての補足が『解説』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路拡張工事をめぐる問題を複数の視点で考える学習活動が【アクティブ公民AL 青果店の立ちのきについて考えよう】に設定されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の課題を解決する多数決のあり方を考える学習活動が【アクティブ公民AL 民主主義のあり方を考えよう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □［思いやる力］の「共生」について、外国籍の子どもたちへ国際教室で日本語指導を行う様子が『未来に向けて 多文化共生の取り組み』に掲載されている。 ⑤ □［たくましく生きる力］の「情報化」について、情報が社会や個人に与える利便性と危険性が『情報化が進む現代』に掲載されている。 ⑥ □［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、中学生の政治参加の仕組みを考える学習活動が【アクティブ公民 政治参加の方法を考えよう】に設定されている。		
3 内容と構成	≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに、単元を通した問いや学びを確認する学習活動が【学習の前に】に設定されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、国語科や音楽科と関連する伝統芸能の狂言を例に、文化の継承を考える学習活動が【未来に向けて 伝統を受け継ぎアップデートしていく】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、ウェビングを利用して現代社会の特色や課題を整理しながら考える学習活動が【アクティブ公民 現代社会の特色を考えよう】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、初詣や七夕といった年中行事や和食を例に、伝統文化を受け継ぐ人々の様子が『日本の文化とその継承』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、ロールプレイを行って異なる立場から事情と主張を考える学習活動が【アクティブ公民AL マンションの騒音問題を解決しよう】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容と関連する語句や事柄が『小学校との関連マーク』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、グラフ資料から現代の少子高齢化の課題を考える学習活動が【少子高齢化が進む現代】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめに過去と現代の社会の変化を示したイラストが『学習の前に 45年前と今の社会を比べてみよう』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【アクティブ公民AL】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、家計の支出と貯蓄の学習を基に家計簿の支出項目を考える学習活動が【アクティブ公民 家計簿の支出項目を考えよう】に設定されている。 ⑰ □ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、国際社会の平和と福祉を複数の視点や立場から情報を整理し考える学習活動が【学習を振り返ろう 国際社会と私たち】に設定されている。 ⑱ □ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、これからの日本の発電エネルギーの改善案を考えてまとめる学習活動が【アクティブ公民AL 2040年の日本の電力構成案を提案しよう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全5章で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ □『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。』また、『見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪社会（公民的分野）≫

※詳細については、資料Ⅱ（公民的分野-7～公民的分野-15）を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学社会　公民的分野
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめとふり返り 語句の意味を確認しよう』に、語句についての補足が『用語解説』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ダイヤモンドランキングを用いて公園づくりを話し合う学習活動が【チャレンジ公民 公園づくりについて話し合おう】に設定されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身の回りの課題を捉えて社会参画することを考える学習活動が【明日に向かって 15歳は子ども？それとも大人？】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標（めざすべき人間力像）に沿っているか。 ④ □［思いやる力］の「共生」について、海外に住む日本人の数の資料からグローバル化する社会の変化を示す内容が『グローバル化する社会で生きる私たち』に掲載されている。 ⑤ □［たくましく生きる力］の「情報化」について、不適切動画の投稿を例に情報化が抱える課題や情報モラルの必要性が『情報スキルアップ ネット社会とつき合う方法』に掲載されている。 ⑥ □［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、選挙制度の課題やこれからの選挙の在り方を考える学習活動が【アクティビティ 選挙に行きたくなるしくみを考えよう】に設定されている。		
3 内容と構成	≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに課題や活動への見通しをもつ学習活動が【どんな学習をするのかな？】に設定されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買契約とクーリングオフ制度を例に、自分たちの生活を考える学習活動が【明日に向かって 契約について考えよう】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、道路の拡張工事を例に挙げ異なる意見をトゥールミンモデルを活用して整理しながら考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張工事について考えよう】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、海外での日本の漫画イベントや茶道で交流する留学生の様子が『日本の伝統文化の特色と文化の創造』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、株式投資の仕組みや実際にどのような企業に投資をするかを考える学習活動が【アクティビティ 株式投資をしてみよう】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、学習のはじめに生産や消費、貿易といった小学校で学習した語句や事項が『小学校で学習した内容』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、変化する雇用の形態やそれらの問題をグラフ資料を読み取りながら考える学習活動が【変化する雇用のかたち】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめにマンガ形式やイラストで課題の説明が『学習のはじめに』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【学習課題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫（それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照） ⑯ □ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人権や公共の福祉を学習したことを基に道路の拡張計画を考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張計画について考えよう】に設定されている。 ⑰ □ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、関税についての異なる意見や立場を比較するなど複数の視点から考える学習活動が【アクティビティ 自由貿易と関税】に設定されている。 ⑱ □ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、労働や雇用の形態の学習から職業選択の自由と責任を考えてまとめる学習活動が【明日に向かって 職業について調べてみよう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全8章で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ □『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪社会（公民的分野）≫

※詳細については、資料Ⅱ（公民的分野-7～公民的分野-15）を参照。

発行者の略称	自由社	書名	新しい公民教科書
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、各章末に学習内容に関する語句が『学習のまとめと発展』に、語句についての補足が『ここがポイント』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、グローバル化による生活の変化を考える学習活動が【アクティブに深めよう グローバル化によって私たちの生活はどう変わったか、考えてみよう】に設定されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の事象に対して効率・公正を踏まえて考える学習活動が【体育館の使用問題①～④】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標（めざすべき人間力像）に沿っているか。 ④ □［思いやる力］の「共生」について、国際平和協力活動の活動からこれからの国際協力や人道支援の課題が『もっと知りたい 国際平和協力活動への取り組み』に掲載されている。 ⑤ □［たくましく生きる力］の「情報化」について、新聞やテレビ報道を例に情報社会におけるマスメディアの役割が『マスメディアと世論の形成』に掲載されている。 ⑥ □［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、地域の課題を基に安全なまちづくりを考える学習活動が【アクティブに深めよう まちづくりを考えよう】に設定されている。		
3 内容と構成	≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに単元全体の課題や問いが示され、各節に具体的な学習活動が【学習項目】に設定されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連するエネルギー資源と環境問題を例に複数の資料を基に考える学習活動が【エネルギーと資源の未来】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、フローシートを使って自分の考えをまとめディベートを行う学習活動が【課題の探究　ディベートをやってみよう】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、自然と共存する江戸時代の人々の知恵や、地域のお祭り、文化財、特産物、風習が『文化の継承と創造』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、国内の食糧問題や防災問題、防犯問題に対して意見をまとめる学習活動が【アクティブに深めよう 総合的な安全保障問題を考えよう】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した伝統工芸品の生産地や特徴が『職人の技が生み出した 日本の伝統的工芸品』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、社会保障費に関するグラフ資料を読み取りこれからの社会の変化を考える学習活動が【社会保障制度の充実】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、各単元の課題の説明や問いを示したキャラクターのセリフが『ここがポイント』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【課題の探求】に示され、調べ学習の課題などが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫（それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照） ⑯ □ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、家族の役割と形態の変化の学習を基に家族の中での役割を考える学習活動が【家族の役割と形態の変化】に設定されている。 ⑰ □ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、グループでの対話的な活動を通して国際紛争への異なる意見を基に国際平和の構築を考える学習活動が【アクティブに深めよう 国際平和をどう作り上げるか】に設定されている。 ⑱ □ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、持続可能な世界に向け自分たちの考え方や生活様式の課題を考えてまとめる学習活動が【持続可能な日本と世界】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全7章で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB変形判が採用されている。 ㉑ □『各単元の重要語句はゴシック（太字）になっています。ゴシックにした重要語句は、すべてこの教科書の最後にあるさくいんに登録されています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪社会（公民的分野）≫

※詳細については、資料Ⅱ（公民的分野-7～公民的分野-15）を参照。

発行者の略称	育鵬社	書名	新しいみんなの公民
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習のまとめ』に、語句についての補足が『用語解説』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、SDGsの視点やPDCAサイクルを基に食品ロスの問題を考える学習活動が【経済のこれから】に設定されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、効率・公正を踏まえてグラウンドの使用方法のルールを考える学習活動が【やってみよう 部活動の平日のグラウンド割りを考えよう(1)(2)】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標（めざすべき人間力像）に沿っているか。 ④ □［思いやる力］の「共生」について、ノーマライゼーションの理念に基づいたデザインや環境づくりの取組が『学習を深めよう バリアフリーとユニバーサルデザイン』に掲載されている。 ⑤ □［たくましく生きる力］の「情報化」について、サブスクリプションサービスを例に情報化した現代社会の特色や課題が『情報から知る現代と未来』に掲載されている。 ⑥ □［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、地域社会の課題の解決策を提案しまちづくりを考える学習活動が【政治のこれから】に設定されている。		
3 内容と構成	≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、各章の導入として、章全体を通して取り組む課題や問いを考える学習活動が【○○の入り口】に設定されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買の契約や消費者保護センターを例に、自分たちと経済活動との関わりを考える学習活動が【消費者の権利と保護】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、ピラミッドチャートを活用して日本国憲法のこれからの課題を考える学習活動が【憲法のこれから】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、食育の学習や郷土芸能に取り組む学生を例に、伝統文化を受け継ぐ人々の様子が『文化の継承と創造』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、自分たちが裁判員になって模擬裁判に取り組む学習活動が【やってみよう 裁判員になって判決を考えよう】に設定にされている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに、小学校で学習した語句が『小学校で学んだことを覚えていますか？』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、キャッシュレス決済の仕組みや現状を示した資料を読み取り家計と経済の関係を考える学習活動が【家計と経済】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめにキャラクターのセリフから学習課題や問いを把握する内容が『章扉』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が各章の【章題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫（それぞれの教科・種目の観点は観点−2～5を参照） ⑯ □ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、国際社会の協調や国際貢献の学習を基にゲーム理論を使って考える学習活動が【学習を深めよう ゲーム理論から考える国際問題】に設定されている。 ⑰ □ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、公共施設建設に対する異なる立場や意見を基に複数の視点から考える学習活動が【法と私たちの生活】に設定されている。 ⑱ □ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、公民で学習したことを基に自分で設定した課題を調べてまとめる学習活動が【テーマを決めてレポートを作成しよう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全5章で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ □『特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。』また、『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅱ】

教科種目名≪社会(公民的分野)≫

1　教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

①生きて働く｢知識･技能｣を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめの活動 第○章の学習をまとめよう』に、語句についての補足が『もっと解説 WINWIN』に掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習のまとめと表現』に、語句についての補足が『側注解説』に掲載されている。
帝国	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習を振り返ろう』に、語句についての補足が『解説』に掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめとふり返り 語句の意味を確認しよう』に、語句についての補足が『用語解説』に掲載されている。
自由社	「知識・技能」の習得について、各章末に学習内容に関する語句が『学習のまとめと発展』に、語句についての補足が『ここがポイント』に掲載されている。
育鵬社	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習のまとめ』に、語句についての補足が『用語解説』に掲載されている。

②未知の状況にも対応できる｢思考力･判断力･表現力等｣の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路の建設計画を公共の福祉の観点からグループで話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ 公共の福祉について考えよう】に、地方自治の学習を基に公共サービスとコンビニエンスストアの提携方法を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 公共サービスとコンビニエンスストアについて考えよう】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教育費とGDPの関係を考える学習活動が【THINK 教育費がGDPに占める割合と、高等学校を私費で負担する割合の国際比較】に、モノの価格の決まり方について需要と供給の関係をグラフから考える学習活動が【公民の技　需要と供給曲線について考えよう】に設定されている。
帝国	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路拡張工事をめぐる問題を複数の視点で考える学習活動が【アクティブ公民AL 青果店の立ちのきについて考えよう】に、裁判員制度の仕組みや意義を考える学習活動が【アクティブ公民AL 裁判員として裁判の判決を考えよう】に設定されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ダイヤモンドランキングを用いて公園づくりを話し合う学習活動が【チャレンジ公民 公園づくりについて話し合おう】に、道路拡張計画を複数の意見を基に考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張計画について考えよう】に設定されている。
自由社	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、グローバル化による生活の変化を考える学習活動が【アクティブに深めよう グローバル化によって私たちの生活はどう変わったか、考えてみよう】に、複数の新聞社の記事を比較し考える学習活動が【アクティブに深めよう 新聞を読み比べてみよう】に設定されている。
育鵬社	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、SDGｓの視点やPDCAサイクルを基に食品ロスの問題を考える学習活動が【経済のこれから】に、政治や法律を学んだことを基に憲法の在り方を考える学習課題が【憲法のこれから】に設定されている。

③学びを人生や社会に生かそうとする｢学びに向かう力･人間性等｣を涵養するための工夫や配慮

東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生存権を例に現実社会の課題を効率・公正の視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 生存権について考えよう】に、学校生活の事例から決まりやルールを考える学習活動が【効率と公正　1年前の学校でのトラブルについて考えよう】に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、効率・公正を踏まえ生活でのルール作りを多面的・多角的視点から考える学習活動が【誰もが大切にできるルールとは】に、防災への取組と課題を話し合う学習活動が【TRY 避難所における課題を考えてみよう】に設定されている。
帝国	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の課題を解決する多数決のあり方を考える学習活動が【アクティブ公民AL 民主主義のあり方を考えよう】に、現在と過去の社会の様子を描いた２つのイラストから日常生活の変化や課題を考える学習活動が【学習の前に　45年前と今の社会を比べてみよう】に設定されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身の回りの課題を捉えて社会参画することを考える学習活動が【明日に向かって 15歳は子ども？それとも大人？】に、日常生活の事例から効率・公正の観点を踏まえて考える学習活動が【アクティビティ 効率と公正の考え方】に設定されている。
自由社	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の事象に対して効率・公正を踏まえて考える学習活動が【体育館の使用問題①～④】に、店を出店するというロールプレイを基に地域経済の課題を考える学習活動が【アクティブに深めよう お店を出店しよう】に設定されている。
育鵬社	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、効率・公正を踏まえてグラウンドの使用方法のルールを考える学習活動が【やってみよう 部活動の平日のグラウンド割りを考えよう(1)(2)】に、中学生の起業を題材に社会参画を考える学習活動が【学習を深めよう 中学生が起業】に設定されている。

2　かながわ教育ビジョンとの関連

④[思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
（共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育　など）	
東書	［思いやる力］の「共生」について、アイヌ民族の歴史や権利保障への国際的な取組が『もっと知りたい 先住民族としてのアイヌ民族』に、神戸市の多文化交流の取組が『もっと知りたい 多文化共生のまちづくり』に掲載されている。
教出	［思いやる力］の「共生」について、複数の国際的な課題を例にSDGsの目標や共生社会の意義が『持続可能な社会に向けて なぜ、子どもたちのためにSDGsを達成するべきなのだろう』に、阿波踊りやエイサーといった伝統文化を継承する様子が『伝統文化の継承と新たな文化の創造』に掲載されている。
帝国	［思いやる力］の「共生」について、外国籍の子どもたちへ国際教室で日本語指導を行う様子が『未来に向けて 多文化共生の取り組み』に、介護現場の状況から社会保障の課題が『公民プラス 介護現場の人手不足』に掲載されている。
日文	［思いやる力］の「共生」について、海外に住む日本人の数の資料からグローバル化する社会の変化を示す内容が『グローバル化する社会で生きる私たち』に、温室効果ガスが環境に与える影響や気候変動の課題が『地球規模の環境問題と国際協力』に掲載されている。
自由社	［思いやる力］の「共生」について、国際平和協力活動の活動からこれからの国際協力や人道支援の課題が『もっと知りたい 国際平和協力活動への取り組み』に、日本のODAの特徴から自助努力による支援の取組と課題が『ミニ知識 自助努力を促してきた日本型ODA』に掲載されている。
育鵬社	［思いやる力］の「共生」について、ノーマライゼーションの理念に基づいたデザインや環境づくりの取組が『学習を深めよう バリアフリーとユニバーサルデザイン』に、子ども食堂を例に共生社会の実現に向けての現状と課題が『社会保障のしくみ』に掲載されている。
⑤[たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
（公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育　など）	
東書	［たくましく生きる力］の「情報化」について、人工知能やIoTといった最新技術の活用例や日常生活へ及ぼす影響が『もっと知りたい 新しい情報技術で社会が変わる』に、POSシステムを例に情報化が流通業に与える変化が『消費生活を支える流通』に掲載されている。
教出	［たくましく生きる力］の「情報化」について、情報社会に影響を与える最新技術やその活用例が『急速に進展する情報社会』に、人工知能の発達と人権との関わりやメディアリテラシーの必要性が『持続可能な社会に向けて なぜ、メディアリテラシーは大切なのだろう』に掲載されている。
帝国	［たくましく生きる力］の「情報化」について、情報が社会や個人に与える利便性と危険性が『情報化が進む現代』に、SNSにおけるフェイクニュースを例に身の回りを取り巻く情報の取扱いや課題が『世論とメディア』に掲載されている。
日文	［たくましく生きる力］の「情報化」について、不適切動画の投稿を例に情報化が抱える課題や情報モラルの必要性が『情報スキルアップ ネット社会とつき合う方法』に、ICTやSNSといった情報技術の発展が社会や家庭に与える変化や影響が『情報化で変わる社会と私たち』に掲載されている。
自由社	［たくましく生きる力］の「情報化」について、新聞やテレビ報道を例に情報社会におけるマスメディアの役割が『マスメディアと世論の形成』に、自然災害や医療で活用される人工知能や情報社会における情報リテラシーの必要性が『情報社会』に掲載されている。
育鵬社	［たくましく生きる力］の「情報化」について、サブスクリプションサービスを例に情報化した現代社会の特色や課題が『情報から知る現代と未来』に、キャッシュレス決済やクラウドファンディングを例に金融サービスの利便性や課題が『学習を深めよう 革新的な金融サービス』に掲載されている。
⑥[社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
（生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育　など）	
東書	［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、中学生の取組を例にした地域の課題解決や政治参加を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 政治参加をしてみよう】に、市長選挙シュミレーションや条例案を作成する学習活動が【導入の活動 だれを市長に選ぶ】に設定されている。
教出	［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、地域の将来を考えて提案書を作成する学習活動が【TRY 子どもたちが暮らしやすい地域のまちづくりを考えよう】に、ボランティア活動を例に住民参加と協働という視点で地域社会での役割を考える学習活動が【変わりゆく地域社会】に設定されている。
帝国	［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、中学生の政治参加の仕組みを考える学習活動が【アクティブ公民 政治参加の方法を考えよう】に、身近な地域の課題を解決するための予算案を考える学習活動が【アクティブ公民AL 自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう】に設定されている。
日文	［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、選挙制度の課題やこれからの選挙の在り方を考える活動が【アクティビティ 選挙に行きたくなるしくみを考えよう】に、船橋市のこども未来会議室を例にまちづくりへの参加を考える学習活動が【明日に向かって まちづくりに参加しよう】に設定されている。
自由社	［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、地域の課題を基に安全なまちづくりを考える学習活動が【アクティブに深めよう まちづくりを考えよう】に、日本の選挙制度の特徴と課題を話し合う学習活動が【もっと知りたい 選挙制度と政治参加】に設定されている。
育鵬社	［社会とかかわる力］の「シチズンシップ教育」について、地域社会の課題の解決策を提案しまちづくりを考える学習活動が【政治のこれから】に、救急車の不要不急利用の問題を話し合う学習活動が【政治の入り口】に設定されている。

3　内容と構成

○　中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮
東書	主体的・対話的で深い学びについて、各章の課題設定、考察、課題解決の３つの流れで取り組む学習活動が【探究のステップ】に、各章の学習全体を通して考える学習内容が【探求課題】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、各章の節ごとに設定された問いを３つのステップで取り組む学習活動が【学習のはじめに 学習の見通し】に、各章ごとの学習内容をふり返って課題の達成を確認する学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。
帝国	主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに、単元を通した問いを確認する学習活動が【学習の前に】に、各節で設定された学習内容が【各節の問い】に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに課題や活動への見通しをもつ学習活動が【どんな学習をするのかな？】に、各節で考えたり話し合ったりする学習活動が【学習課題】に設定されている。
自由社	主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに単元全体の課題や問いが示され、各節に具体的な学習活動が【学習項目】に、各章の課題をふり返る学習活動が【学習のまとめと発展】に設定されている。
育鵬社	主体的・対話的で深い学びについて、各章の導入として、章全体を通して取り組む課題や問いを考える学習活動が【○○の入り口】に、単元の終わりに学びをふり返る活動が【○○のこれから】に設定されている。
⑧	他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮
	（教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など）
東書	カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買の契約や複数の支払い方法を例に、その仕組みを考える学習活動が【18歳へのステップ 契約と支払い方法のあれこれ】に、家庭科や道徳科で扱われる伝統的な行事や食文化について考える学習活動が【伝統文化の継承と新たな文化の創造】に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する製造物責任法（PL法）を例に、消費者の安全を守るための技術や方法を考える学習活動が【公民の窓 PL法をめぐって】に、持続可能な未来を実現するために他教科と関連させ複数の視点から考えて提案書を作成する学習活動が【終章 私たちが未来の社会を築く】に設定されている。
帝国	カリキュラム・マネジメントについて、国語科や音楽科と関連する伝統芸能の狂言を例に、文化の継承を考える学習活動が【未来に向けて 伝統を受け継ぎアップデートしていく】に、教科・分野横断的な視点が必要となる持続可能な社会の構築を考える学習活動が【学習の前に 地球的課題を探してみよう】に設定されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買契約とクーリングオフ制度を例に、自分たちの生活を考える学習活動が【明日に向かって　契約について考えよう】に、教科横断的な視点が必要なSDGsの目標達成に向けての課題を考える学習活動が【明日に向かって SDGsから未来の社会を考えよう】に設定されている。
自由社	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連するエネルギー資源と環境問題を例に複数の資料を基に考える学習活動が【エネルギーと資源の未来】に、美術科で扱う日本美術の特色を歴史的な視点を交えながら考える学習活動が【もっと知りたい 芸術とは何だろう】に設定されている。
育鵬社	カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買の契約や消費者保護センターを例に、自分たちと経済活動との関わりを考える学習活動が【消費者の権利と保護】に、技術科で扱われる情報技術の発達が社会に与える影響を考える学習活動が【学習を深めよう 革新的な金融サービス】に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、市民の声を反映したまちづくりをステップチャートを活用して順序立てて考える学習活動が【深めよう S市の議員になって条例を作ろう】に、マトリックス図を用いて人権に対する考えの違いをまとめる学習活動が【導入の活動 ちがいのちがい】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、日本の社会保障制度や経済の課題をダイヤモンドランキングを活用して優先順を考えながらまとめる学習活動が【学習のまとめと表現 安心して豊かに暮らせる社会】に、クラゲチャートや情報分析チャートといったツールで視覚化をしながら考察を行う学習活動が【公民にアプローチ 思考ツールを使って情報を整理しよう】に設定されている。
帝国	言語能力の育成について、ウェビングを利用して現代社会の特色や課題を整理しながら考える学習活動が【アクティブ公民 現代社会の特色を考えよう】に、赤字バス路線の問題を解決するためにトゥールミンモデルやディスカッションを取り入れた学習活動が【アクティブ公民AL 現代社会の特色を考えよう】に設定されている。
日文	言語能力の育成について、道路の拡張工事を例に挙げ異なる意見をトゥールミンモデルを活用して整理しながら考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張工事について考えよう】に、社会課題とSDGsの関わりをウェビングを活用して考える学習活動が【明日に向かって　SDGsから社会の課題を考えよう】に設定されている。
自由社	言語能力の育成について、フローシートを使って自分の考えをまとめディベートを行う学習活動が【課題の探究　ディベートをやってみよう】に、マトリックスを利用して各国の国王・首相・大統領の制度の違いをまとめる学習活動が【やってみよう】に設定されている。
育鵬社	言語能力の育成について、ピラミッドチャートを活用して日本国憲法のこれからの課題を考える学習活動が【憲法のこれから】に、自分のライフプランをグラフに表しながら人生設計を考える学習活動が【やってみよう 人生をデザインしよう】に設定されている。

⑩伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統文化や芸術やアニメが世界に広がる様子が『多様な文化の意義』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、茶道や歌舞伎を例に、伝統文化の技や知恵が現代に受け継がれる様子が『伝統文化の継承と新たな文化の創造』に掲載されている。
帝国	伝統や文化に関する教育の充実について、初詣や七夕といった年中行事や和食を例に、伝統文化を受け継ぐ人々の様子が『日本の文化とその継承』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、海外での日本の漫画イベントや茶道で交流する留学生の様子が『日本の伝統文化の特色と文化の創造』に掲載されている。
自由社	伝統や文化に関する教育の充実について、自然と共存する江戸時代の人々の知恵や、地域のお祭り、文化財、特産物、風習が『文化の継承と創造』に掲載されている。
育鵬社	伝統や文化に関する教育の充実について、食育の学習や郷土芸能に取り組む学生を例に、伝統文化を受け継ぐ人々の様子が『文化の継承と創造』に掲載されている。

⑪体験活動の充実

東書	体験活動の充実について、公園の使用方法やルールづくりを複数の立場や視点で考える学習活動が【深めよう T市の新しい公園の使用ルールを考えよう】に、みんなで作った学校生活のルールの見直しを話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ 決まりの見直しをしよう】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、各グループから出た提案を効率と公正の視点から比較・検討し評価する学習活動が【公民の技 考えたルールを評価しよう】に、人権やそれに関する法令を基にネット社会で人権を守る方法を考える学習活動が【発展する人権】に設定されている。
帝国	体験活動の充実について、ロールプレイを行って異なる立場から事情と主張を考える学習活動が【アクティブ公民AL マンションの騒音問題を解決しよう】に、青果店の立ち退きについてディベートを行う学習活動が【アクティブ公民AL 青果店の立ちのきについて考えよう】に設定されている。
日文	体験活動の充実について、株式投資の仕組みや実際にどのような企業に投資をするかを考える学習活動が【アクティビティ 株式投資をしてみよう】に、公園づくりについて複数の立場や意見から考える学習活動が【チャレンジ公民 公園づくりについて話し合おう】に設定されている。
自由社	体験活動の充実について、国内の食糧問題や防災問題、防犯問題に対して意見をまとめる学習活動が【アクティブに深めよう 総合的な安全保障問題を考えよう】に、自分たちのまちづくりを生活経験や既習内容を基に考える学習活動が【アクティブに深めよう 魅力あるまちづくりを考えよう】に設定されている。
育鵬社	体験活動の充実について、自分たちが裁判員になって模擬裁判に取り組む学習活動が【やってみよう 裁判員になって判決を考えよう】に、新聞の社説を比較して自分たちの意見を話し合う学習活動が【やってみよう 新聞の社説を比べてみよう】に設定にされている。

⑫	学校段階間の円滑な接続
東書	学校段階間の円滑な接続について、国民主権や平和主義といった小学校で学習した語句や事柄が『小学校の社会で習ったことば』に、成人になるとできるようになる事柄が『18歳へのステップ 18歳でできること、20歳でできること』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、憲法や国会といった小学校で学習した内容との関係が『関連』に、公民で学習したことをこれからの社会や生活に関連させていく内容が『公民の学習の終わりに』に掲載されている。
帝国	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容と関連する語句や事柄が『小学校との関連マーク』に、ページ下部にSDGｓに関する小学校での既習事項との関連が『小学校・地理・歴史・他教科との関連』に掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、学習のはじめに生産や消費、貿易といった小学校で学習した語句や事項が『小学校で学習した内容』に、高等学校で学習する公共の内容が『高校の公民科公共とのつながり』に掲載されている。
自由社	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した伝統工芸品の生産地や特徴が『職人の技が生み出した 日本の伝統的工芸品』に、地域のボランティア活動の成果と課題が『地方自治の課題』に掲載されている。
育鵬社	学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに、小学校で学習した語句が『小学校で学んだことを覚えていますか？』に、公民の学習を始めるにあたってその意義や目的を示した『なぜ公民を学ぶのか』に掲載されている。

⑬	情報活用能力の育成
東書	情報活用能力の育成について、地方財政の変化を表すグラフ資料から情報を読み取り地方公共団体の課題を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 地方財政（歳出）の変化を調べよう】に、資料を読んで株式市場の仕組みや働きを考える学習活動が【株式会社の仕組み】に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、地図上の分布図を用いて地域紛争の現状を知りその問題や解決に向けて考える学習活動が【終わらない地域紛争】に、グラフ資料から社会保障費の給付と負担の情報を読み取る学習活動が【公民の技 給付と負担のこれからをセルフディベートで考えよう】に設定されている。
帝国	情報活用能力の育成について、グラフ資料から現代の少子高齢化の課題を考える学習活動が【少子高齢化が進む現代】に、マスメディアの資料から情報発信の特性を考えてまとめる学習活動が【18歳への準備 メディアリテラシーを身につけよう】に設定されている。
日文	情報活用能力の育成について、変化する雇用の形態やそれらの問題をグラフ資料を読み取りながら考える学習活動が【変化する雇用のかたち】に、日本の人口のグラフ資料からこれからの社会の変化を予想する学習活動が【アクティビティ 日本の人口】に設定されている。
自由社	情報活用能力の育成について、社会保障費に関するグラフ資料を読み取りこれからの社会の変化を考える学習活動が【社会保障制度の充実】に、グラフ資料から一票の格差を読み取り選挙制度を考える活動が【もっと知りたい 選挙制度と政治参加】に設定されている。
育鵬社	情報活用能力の育成について、キャッシュレス決済の仕組みや現状を示した資料を読み取り家計と経済の関係を考える学習活動が【家計と経済】に、資料から日本の社会保障のあり方を考える学習活動が【社会保障と財政】に設定されている。

⑭	生徒の学習上の困難さに応じた工夫
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、キャラクターの吹き出し・イラスト・図・写真といった内容が『導入の活動 T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう』に、教科書を使った公民の学び方や課題設定に関する内容が『この教科書の使い方と学び方』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめに学習のポイントをマンガ形式の説明や図で説明する内容が『学習のはじめに』に、公民で学ぶ内容や学習の見通しを解説した内容が『公民で学ぶ主な内容と学習の見通し』に掲載されている。
帝国	生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめに過去と現代の社会の変化を示したイラストが『学習の前に 45年前と今の社会を比べてみよう』に、キャラクターのセリフで教科書の学び方の説明が『公民的分野の学習の全体像』に掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめにマンガ形式やイラストで課題の説明が『学習のはじめに』に、公民で学ぶ内容やコンテンツ・コラムに関しての補足がイラスト付きで『教科書の構成と学び方』に掲載されている。
自由社	生徒の学習上の困難さへの対応について、各単元の課題の説明や問いを示したキャラクターのセリフが『ここがポイント』に、公民を学ぶ目的や教科書の構成に関する内容がイラスト付きで『この教科書で学ぶにあたって』に掲載されている。
育鵬社	生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめにキャラクターのセリフから学習課題や問いを把握する内容が『章扉』に、キャラクターのセリフで各節の課題や疑問が『各節のはじめ』に掲載されている。

⑮	**生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。**
東書	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【デジタルコンテンツを活用しよう】や【深めよう】に示され、思考ツールなどにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【公民の技】や【まなびリンク】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
帝国	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【アクティブ公民AL】や【QRコンテンツの活用】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【学習課題】や【学習のはじめに】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
自由社	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【課題の探求】や【やってみよう】に示され、調べ学習の課題などが掲載されている。
育鵬社	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が各章の【章題】や【目次】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯	**生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。**
東書	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、株式会社の仕組みの学習を基に株式投資を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 投資家になって考えよう】に、情報化による社会の変化から10年後の電話機を考える学習活動が【情報化 電話機の変化】に設定されている。
教出	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、少子化と高齢化の学習を基に20年後、40年後の人口と社会の変化を考える学習活動が【THINK!】に、人権思想の歴史と日本への影響を考える学習活動が【見方×考え方】に設定されている。
帝国	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、家計の支出と貯蓄の学習を基に家計簿の支出項目を考える学習活動が【アクティブ公民 家計簿の支出項目を考えよう】に、防災備蓄倉庫の運用規則の改善方法を話し合う学習活動が【私たちときまり】に設定されている。
日文	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人権や公共の福祉について学習したことを基に異なる意見を整理しながら道路の拡張計画を考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張計画について考えよう】に、地球温暖化問題に対する３つの異なる政党の意見に対して自分たちの考えをまとめる学習活動が【チャレンジ公民　地球温暖化に対する政策について考えよう】に設定されている。
自由社	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、家族の役割と形態の変化の学習を基に家族の中での役割を考える学習活動が【家族の役割と形態の変化】に、経済や社会保障の学習からこれからの年金制度を考える学習活動が【もっと知りたい 年金について考えてみよう】に設定されている。
育鵬社	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、国際社会の協調や国際貢献の学習を基にゲーム理論を使って考える学習活動が【学習を深めよう ゲーム理論から考える国際問題】に、政治参加と世論の学習から２つの新聞記事を比較して考える学習活動が【政治参加と世論】に設定されている。
⑰	**社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。**
東書	多面的・多角的に考察し、表現することについて、エネルギー問題や環境問題などの国際的な課題を、異なる視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 温室効果ガスの排出制限について考えよう】に、エネルギー政策を複数の視点で考える学習活動が【もっと知りたい これからの日本のエネルギーを考える】に設定されている。
教出	多面的・多角的に考察し、表現することについて、地域のルールについて異なる立場から考えたり話し合ったりする学習活動が【JUMP 未来のためにできること】に、京都の景観保護の取組から住民の生活と企業活動の関係を考える学習活動が【受け継がれる京都の景観】に設定されている。
帝国	多面的・多角的に考察し、表現することについて、国際社会の平和と福祉を複数の視点や立場から情報を整理し考える学習活動が【学習を振り返ろう 国際社会と私たち】に、資料から若者の政治参加の様子を多角的に考える学習活動が【私たちと政治参加】に設定されている。
日文	多面的・多角的に考察し、表現することについて、関税についての異なる意見や立場を比較するなど複数の視点から考える学習活動が【アクティビティ 自由貿易と関税】に、人間らしい生活とは何かを考える学習活動が【アクティビティ 人間らしく生きるために必要なものは？】に設定されている。
自由社	多面的・多角的に考察し、表現することについて、グループでの対話的な活動を通して国際紛争への異なる意見を基に国際平和の構築を考える学習活動が【アクティブに深めよう 国際平和をどう作り上げるか】に、諸外国の憲法の特色を多角的に考える学習活動が【日本国憲法の原則】に設定されている。
育鵬社	多面的・多角的に考察し、表現することについて、公共施設建設に対する異なる立場や意見を基に複数の視点から考える学習活動が【法と私たちの生活】に、日本の労働問題を資料を基に話し合って考える学習活動が【労働問題と働き方改革】に設定されている。

⑱	課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。
東書	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、国際平和の実現に向けて争いの解決を考えてまとめる学習活動が【深めよう はちみつの争い】に、学習した内容を基に自分たちと政治との関わり方を考えてまとめる学習活動が【探究課題 第３章の探究課題を解決しよう】に設定されている。
教出	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、憲法や基本的人権の学習を基に個人の尊重の在り方を考えてまとめる学習活動が【学習のまとめと表現 個人を尊重する日本国憲法の問い】、過去から現在、未来へつながる社会を考えてまとめる学習活動が【学習のまとめと表現私たちの暮らしと現代社会の問い】に設定されている。
帝国	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、これからの日本の発電エネルギーの改善案を考えてまとめる学習活動が【アクティブ公民AL 2040年の日本の電力構成案を提案しよう】に、各章で学んだことを基に、各自でテーマして探究活動を行い、考えてまとめる学習活動が【５部 課題探究と私たち】に設定されている。
日文	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、労働や雇用の形態の学習から職業選択の自由と責任を考えてまとめる学習活動が【明日に向かって 職業について調べてみよう】に、社会保障制度の学習から自分の将来と年金制度の関わりを考えてまとめる学習活動が【明日に向かって 年金のしくみについて知ろう】に設定されている。
自由社	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、持続可能な世界に向け自分たちの考え方や生活用式の課題を考えてまとめる学習活動が【持続可能な日本と世界】に設定され、国会制度や法律、裁判の学習を基に、刑事裁判や少年法の課題を考えてまとめる学習活動が【第３章学習のまとめと発展】に設定されている。
育鵬社	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、公民で学習したことを基に自分で設定した課題を調べてまとめる学習活動が【テーマを決めてレポートを作成しよう】に、生活と現代社会の学習からマンションでのペット問題の解決策を考えてまとめる学習活動が【現代社会のこれから】に設定されている。

4　分量・装丁・表記等

⑲	各内容の分量とその配分は適切であるか。
東書	学習内容ごとに本文、資料などが見開き２ページ程度でまとめられている。『現代社会と私たち』『個人の尊重と日本国憲法』『現代の民主政治と社会』『私たちの暮らしと経済』『地域社会と私たち』『よりよい社会を目指して』の全６章で構成されている。
教出	学習内容ごとに本文、資料などが見開き２ページ程度でまとめられている。『私たちの暮らしと現代社会』『個人を尊重する日本国憲法』『私たちの暮らしと民主政治』『私たちの暮らしと経済』『安心して豊かに暮らせる社会』『国際社会に生きる私たち』『私たちが未来の社会を築く』の全７章で構成されている。
帝国	学習内容ごとに本文、資料などが見開き２ページ程度でまとめられている。『現代社会』『政治』『経済』『国際』『課題探求学習』の全５章で構成されている。
日文	学習内容ごとに本文、資料などが見開き２ページ程度でまとめられている。『私たちが生きる現代社会』『現代社会の見方・考え方』『個人の尊重と日本国憲法』『国民主権と日本の政治』『市場のはたらきと経済』『国民生活と政府の役割』『現代の国際社会と課題』『私たちの課題』の全８章で構成されている。
自由社	学習内容ごとに本文、資料などが見開き２ページ程度でまとめられている。『現代日本の自画像』『個人と社会生活』『立憲国家と国民』『日本国憲法と立憲的民主政治』『国民生活と経済』『国際社会に生きる日本』『持続可能な社会を目指して』の全７章で構成されている。
育鵬社	学習内容ごとに本文、資料などが見開き２ページ程度でまとめられている。『私たちの生活と現代社会』『私たちの生活と政治①』『私たちの生活と政治②』『私たちの生活と経済』『私たちと国際社会の課題』の全５章で構成されている。
⑳	体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。
東書	判型はＡＢ判が採用されている。
教出	判型はＡＢ判が採用されている。
帝国	判型はＡＢ判が採用されている。
日文	判型はＡＢ判が採用されている。
自由社	判型はＡＢ変形判が採用されている。
育鵬社	判型はＡＢ判が採用されている。

㉑	文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『生徒の負担に配慮し、軽量な紙を使用しています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
帝国	『特別支援教育やユニバーサルデザイン（UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。』また、『見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『軽くて耐久性に優れた再生紙を使用し、ライスインキで印刷しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。』と表記されている。
自由社	『各単元の重要語句はゴシック（太字）になっています。ゴシックにした重要語句は、すべてこの教科書の最後にあるさくいんに登録されています。』と表記されている。
育鵬社	『特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。』また、『見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『環境に配慮し、植物油インキで印刷しています。また、本文用紙の一部には再生紙を使用しています。』と表記されている。

【参考】

①	題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載
東書	22ページ　写真『ハロウィンのキッズパレードを楽しむ親子』(川崎市) 151ページ　写真『工場で働く障がいのある人たち』(川崎市)
教出	25ページ　写真『クリスマスマーケット』（横浜市） 54ページ　写真『小学校で行われた出張授業』（横浜市） 56ページ　写真『自分たちが暮らす町の魅力を伝える高校生』（川崎市） 120ページ　図３『「ふるさと納税」の寄付額が多い自治体と、住民税の税収が減った自治体」（横浜市） 121ページ　図４『歳入に占める地方税の割合と地方交付税の割合の比較』（神奈川県） 123ページ　図４『神奈川県川崎市の「外国人市民代表会議」のしくみ』（川崎市） 125ページ　写真『市民オンブズマンが果たす役割』（川崎市） 138ページ　写真『さまざまな生産』（横須賀市） 139ページ　写真『バーチャルフィッティング』（大和市） 163ページ　写真『財政投融資が活用された東京湾アクアライン』（川崎市） 巻末１　写真『自分たちが暮らす町の未来について話し合う高校生』（川崎市） 巻末２　写真『車いすのまま遊べる遊具』（藤沢市）
帝国	巻頭２　写真『廃材でつくったアート作品』（川崎市） 巻頭２　写真『電車を利用する観光客とパーク＆ライドの切符』（鎌倉市） 17ページ　写真『防災備蓄倉庫』（津久井） 101ページ　写真『防災授業参観の様子』（横浜市） 103ページ　地図資料『さまざまな特色のある条例』（相模原市、鎌倉市） 104ページ　写真『インターチェンジ周辺の工業地帯』（厚木市） 124ページ　写真『通信販売を行う企業の物流センター』（小田原市） 132ページ　写真、文『普及が進む電気自動車』（横浜市） 139ページ　写真、文『障がいがあっても働ける場を』（川崎市） 143ページ　写真、分『美味しい牛乳をつくって地域貢献』（伊勢原市） 172ページ　写真、文『開発した化合物が並ぶF社の研究施設』（南足柄市） 178ページ　写真、文『ごみの焼却炉から金・銀を回収』（相模原市） 178ページ　写真『壁面に太陽光パネルが設置されたA社のショッピングセンターの立体駐車場』（座間市） 198ページ　写真『太陽光発電所』（愛川町） 213ページ　写真、文『脱炭素先行地域』（横浜市）
日文	２ページ　写真『京浜工業地帯』（川崎市） 17ページ　写真・文『エネルギーの地産地消』（小田原市） 19ページ　写真『春節』（横浜市） 65ページ　写真『トイレットペーパーの買い占め』（横浜市） 103ページ　写真『防災かるた』（横浜市） 126ページ　写真『条例の広報に努める市の職員』（大和市） 158ページ　写真『テレワークで働く人』（横浜市） 216ページ　写真・文『プラスチックの海洋汚染』（鎌倉市、藤沢市） 224ページ　写真『視覚に障がいのある人のための防災』（横浜市） 巻末５　写真『自動運転のシャトルバス』（藤沢市）
自由社	17ページ　人物『日本人のノーベル賞受賞者』（根岸英一） 103ページ　人物『戦後の主な総理大臣』（小泉純一郎） 193ページ　地図『在日アメリカ軍の配置図』（座間市・厚木市・横須賀市）
育鵬社	52ページ　地図『日本各地に駐留する在日米軍』（横須賀市・厚木市） 58ページ　写真『国務大臣の育児休暇所得を伝える新聞記事』（横須賀市） 62ページ　写真『ある中学校のトイレの案内板』（横浜市） 141ページ　写真『労働組合による賃上げの様子』（横浜市） 164ページ　写真『海洋plasticの問題』（横浜市） 168ページ　写真『食品リサイクル会社に持ち込まれた、売れ残りの食パンや調理パン』（相模原市）

②一冊ごとの重量（ｇ）

	冊数	重量（ｇ）
東書	1	468
教出	1	518
帝国	1	502
日文	1	524
自由社	1	526
育鵬社	1	512